食品安全委員会農薬第四専門調査会

第15回会合議事録

1. 日時 令和4年4月21日（木） 14:00～14:30

2. 場所 食品安全委員会中会議室 （Web会議システムを利用）

3. 議事

- (1) 委員長挨拶
- (2) 専門委員等紹介
- (3) 専門調査会の運営等について
- (4) 座長の選出、座長代理の指名
- (5) その他

4. 出席者

(専門委員)

石井専門委員、太田専門委員、小野専門委員、楠原専門委員、小林専門委員、
佐藤専門委員、杉原専門委員、永田専門委員、中山専門委員、納屋専門委員、
藤井専門委員、安井専門委員

(専門参考人)

高木専門参考人、本多専門参考人

(食品安全委員会)

山本委員長、浅野委員、脇委員

(事務局)

中事務局次長、近藤評価第一課長、栗山課長補佐、横山課長補佐、
糸井専門官、中井専門官、原田係長、落合専門職、三枝専門職、高橋専門職、
町野専門職、宮木係員、海上技術参与

5. 配布資料

資料1-1 食品安全委員会専門調査会等運営規程

資料1-2 食品安全委員会における調査審議方法等について

資料1-3 「食品安全委員会における調査審議方法等について」に係る確認書
について

資料2 農薬第四専門調査会専門委員等名簿（令和4年4月現在）

- 資料3 評価書の記載内容の検討について
参考資料1 令和4年度食品安全委員会運営計画

6. 議事内容

○栗山課長補佐

それでは、定刻となりましたので、ただいまから第15回農薬第四専門調査会を開催いたします。

先生方には、お忙しい中、御出席いただき、ありがとうございます。

事務局の課長補佐を務めます栗山と申します。僭越ながら、座長が選出されるまでの間、私が議事を進行させていただきますので、どうぞよろしく願いいたします。

開催通知等で御連絡いたしましたように、本日の会議につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、Web会議システムを利用して行います。

なお、このような事情から本日は傍聴者を入れずに開催することとし、本会議の様子をYouTubeによりライブ配信する予定としておりましたが、本日、傍聴登録はございませんでした。後日、議事録のほうで公開させていただきます。

それから、この度、4月1日付をもちまして専門委員の選任が行われましたが、本日は選任後の最初の会合に当たりますので、まず初めに、山本食品安全委員会委員長より御挨拶させていただきます。

○山本委員長

皆さん、こんにちは。食品安全委員会の山本でございます。このたびは専門委員への就任を御快諾いただき、ありがとうございます。食品安全委員会の委員長としてお礼を申し上げます。

内閣総理大臣名の令和4年4月1日付食品安全委員会専門委員としての任命書がお手元に届いていると思います。専門委員が所属する専門調査会は、委員長が指名することになっており、先生方を農薬第四専門調査会に所属する専門委員として指名させていただきました。

食品安全委員会は、リスク評価機関としての独立性と中立性を確保しつつ、科学的知見に基づき客観的で公正な立場から食品健康影響評価を行うことを掲げております。先生方にはこの大原則を御理解の上、それぞれ御専門の分野の科学的知見や経験を踏まえ、積極的に専門調査会での審議に御参画いただきますようお願いいたします。

また、通常私どもが考える科学は、精密かつ多数のデータを基に正確な回答、真理を求めていくものです。一方、リスク評価は、多数の領域の学問が力を合わせて判断していく科学、レギュラトリーサイエンスの一つであると考えられております。リスク評価では、時に限られたデータから何らかの回答を出すことを求められることもあるという点も御理解いただきたいと思います。

なお、食品安全委員会の審議につきましては原則公開ということになってございますが、

この農薬第四専門調査会の審議は、企業の知的財産等が開示され、特定の者に不当な利益若しくは不利益をもたらすおそれがあることから非公開で行うことが多くなるかと思いません。しかし、議事録は公開となっております。先生方の御経験を生かした御発言や最終的な判断、決定に至るまでの議論を広く公開することによって、審議対象となった評価方法の概要や活用の意義といったものを国民の皆様にも広く御理解いただけて、情報の共有に資するものと考えてございます。

さて、この農薬第四専門調査会では、個別の農薬について調査審議を行うために設置されています。そして、調査審議をいただく農薬につきましては、委員長から指定させていただきますことになっております。食品安全委員会における農薬の評価には、代謝、毒性に関する幅広い知見が必要であることから、一般毒性学の先生方のみならず、生殖発生毒性、遺伝毒性、植物代謝など幅広い分野から御参画いただいております。皆様の知見が結集されることにより適切な食品健康影響評価が可能になると考えております。

最後になりますが、食品安全委員会の活動には、国の内外を問わず高い関心が寄せられております。専門委員としての任務は、食品の安全を支える重要かつ意義深いものであります。先生方におかれましては、科学的に妥当性の高い食品健康影響評価が遂行できますように御尽力いただけますよう重ねてお願い申し上げます。

私からの御挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。

○栗山課長補佐

ありがとうございました。

次に、本日机上配布しております資料の確認をお願いいたします。

本日の資料は、議事次第のほか、

資料1-1として、食品安全委員会専門調査会等運営規程。

資料1-2として、食品安全委員会における調査審議方法等について。

資料1-3として、『食品安全委員会における調査審議方法等について』に係る確認書について。

資料2として、農薬第四専門調査会専門委員等名簿。

資料3として、評価書の記載内容の検討について。

参考資料1として、令和4年度食品安全委員会運営計画。

以上です。資料及び参考資料はホームページに掲載しております。

配布資料の不足等はありませんでしょうか。過不足等ございましたら事務局までお申し付けいただければと思います。

なお、本日はWeb会議形式で行いますので、そちらの注意事項を3点お伝えします。

1つ目、カメラは基本的にオンにさせていただきますようお願いいたします。また、マイクは発言者の音質向上のため、発言しないときはオフにさせていただくようお願いいたします。

2つ目、御発言いただく際は、まずお手元の意思表示カードの「挙手」と記載されたほ

うをカメラに向けてください。万が一、映像機能が途中で機能しなくなるなどの障害がございましたら、挙手機能を使用して挙手いただきます。なお、途中で挙手機能及び映像機能が機能しなくなった場合は一度退室いただき、再度入室を試みていただきますようお願いいたします。

次に、事務局又は座長が先生のお名前をお呼びしましたらマイクをオンにし、冒頭にお名前を発言いただいた上で御発言を開始いただいて、発言の最後には「以上です」と発言いただいて、マイクをオフとする形での御対応をお願いいたします。

3つ目、会議中、通信環境により音声途切れて聞き取りにくい状況になってしまった場合は、カメラ表示を切ることで比較的安定した通信が可能となる場合がございます。画面下のカメラボタンをクリックいただくとオン・オフができます。それでも状況が変わらずに議論内容が分からない状況が続くようでしたら、お手数ですがチャット機能を使用して状況を御連絡ください。予期せず切断されてしまった場合には再度入室をお試しいただくようお願いいたします。

以上、Web会議における注意事項となります。よろしくお願いいたします。

次に、議事2として専門委員等紹介です。専門委員につきまして、私のほうからお名前の五十音順に紹介させていただきます。お名前をお呼びしましたらマイクをオンにしていただき、御所属や専門分野など一言御発言いただけましたら幸いです。発言を終わられました方はマイクをオフをお願いいたします。

それでは、御紹介させていただきます。

まず、石井雄二専門委員。

○石井専門委員

国立医薬品食品衛生研究所病理部の石井です。よろしくお願いいたします。毒性を担当させていただきます。

○栗山課長補佐

続きまして、太田敏博専門委員。

○太田専門委員

東京薬科大学の太田です。遺伝毒性を担当しております。よろしくお願いいたします。

○栗山課長補佐

続きまして、小野敦専門委員。

○小野専門委員

岡山大学の小野敦です。一般毒性を主に担当させていただきます。よろしくお願いいたします。

○栗山課長補佐

続きまして、楠原洋之専門委員。

○楠原専門委員

東大薬学部の楠原です。薬物動態学を担当しております。よろしくお願いいたします。

○栗山課長補佐

続きまして、小林健一専門委員。

○小林専門委員

労働安全衛生総合研究所の小林健一と申します。生殖発生毒性を担当します。よろしくお願いいたします。

○栗山課長補佐

続きまして、佐藤洋専門委員。

○佐藤専門委員

岩手大学の佐藤です。一般毒性を担当いたします。よろしくお願いいたします。

○栗山課長補佐

続きまして、杉原数美専門委員。

○杉原専門委員

広島国際大学薬学部の杉原数美です。動物代謝を担当させていただきます。よろしくお願いいたします。

○栗山課長補佐

続きまして、永田清専門委員。

○永田専門委員

東北医科薬科大の永田です。動物代謝を担当しています。よろしくお願いいたします。

○栗山課長補佐

続きまして、中山真義専門委員。

○中山専門委員

農研機構の中山と申します。植物代謝を担当しております。よろしくお願いいたします。

○栗山課長補佐

続きまして、納屋聖人専門委員。

○納屋専門委員

無所属の納屋でございます。生殖毒性を担当いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

○栗山課長補佐

続きまして、藤井咲子専門委員。

○藤井専門委員

化合物安全性研究所の藤井咲子でございます。生殖発生毒性を担当させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

○栗山課長補佐

続きまして、安井学専門委員。

○安井専門委員

安井です。国衛研の安井です。遺伝毒性を担当しています。よろしくお願いいたします。

○栗山課長補佐

以上12名の専門委員に御出席いただいております。

また、専門参考人として高木篤也専門参考人。

○高木専門参考人

国立医薬品食品衛生研究所の高木です。一般毒性を担当しております。よろしくお願いいたします。

○栗山課長補佐

続きまして、本多一郎専門参考人。

○本多専門参考人

前橋工科大学の本多と申します。植物代謝を担当させていただきます。よろしくお願いいたします。

○栗山課長補佐

以上2名の専門参考人に御出席いただいております。

また、食品安全委員会からは、先ほど御挨拶いたしました山本委員長、農薬に関する専門調査会の主担当の浅野委員、副担当の脇委員が御出席しております。

事務局につきましては、本日、中次長、近藤評価第一課長、このほか評価第一課から事務局員が参加しております。

また、事務局の人事異動について御報告いたします。4月1日付で藤井専門官が異動いたしましたして、後任として落合専門職が着任しております。

○落合専門職

4月1日より評価第一課に配属となりました落合と申します。よろしくお願いいたします。

○栗山課長補佐

4月1日付で三枝が専門職へ昇任しております。

○三枝専門職

三枝と申します。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

○栗山課長補佐

よろしくお願いいたします。

続きまして、議事3の専門調査会の運営等についてでございます。課長の近藤のほうから御説明させていただきます。

○近藤評価第一課長

事務局の近藤でございます。それでは、私のほうから調査会の運営等について説明させていただきます。

資料1-1、1-2、1-3をお手元に御準備ください。

まず、資料1-1食品安全委員会専門調査会等運営規程を御覧ください。第2条に専門調査会の設置等に関する規定がございます。第3項、専門調査会に座長を置き、専門委員の互選により選任するとされております。また、第5項としまして座長に事故があると

きに備えまして、あらかじめ座長代理を指名するとございます。

また、1 ページの一番下、専門調査会の会議に関する規定としまして、第4条として、座長は、次のページに参りまして、専門委員の会議を招集し、その議長となるといったことなどが定められております。

続きまして、資料1-2を御覧ください。食品安全委員会における調査審議方法等についてということで、いわゆるCOIに関して規定を設けております。資料1-2の2、委員会等における調査審議等への参加についての(1)としまして、調査審議に参加できない場合の定めがございます。次に掲げる場合に該当するときということで、①から2ページ目の⑥まで定められておまして、例えば④のように調査対象品目の審議、資料等の作成に協力した場合等々が定められております。

また、2 ページ目の(2)を御覧いただきまして、これに該当していないこと、該当の有無を確認するために、専門委員から確認書を御提出いただくことの定めがございます。事前に御提出いただきました確認書につきましては、本日の資料1-3としてお配りしているものでございます。御提出いただいていた確認書から変更がある場合には、また確認書を御提出していただくことが(3)として定められておりますので、御協力のほど、よろしく願いいたします。

以上、簡単でございますが、御説明させていただきましても、何か御意見、御質問がございましたら、お願いいたします。

よろしいでしょうか。

それでは、御説明いたしました内容について御確認いただきまして、また御留意いただき、専門委員をお務めいただければと存じます。どうぞよろしく願いいたします。

説明は以上でございます。

○栗山課長補佐

続きまして、議事4座長の選出、座長代理の指名に入りたいと思います。先ほど御説明いたしました食品安全委員会専門調査会等運営規程、第2条第3項により、専門調査会に座長を置き、当該専門調査会に属する専門委員の互選により選任することとされています。どなたか御推薦はございませんでしょうか。

中山先生、お願いいたします。

○中山専門委員

座長につきましては、小野専門委員が適任と考えるので、私のほうから推薦いたしません。

○栗山課長補佐

そのほかはいかがでしょうか。

石井専門委員、お願いします。

○石井専門委員

石井です。私も小野専門委員が適任だと考えるので、御推薦いたします。

○栗山課長補佐

ありがとうございます。

ただいま、中山専門委員、石井専門委員から、小野専門委員を座長にという御推薦がありました。そのほかいかがでしょうか。

よろしいようでしたら、それでは、ほかの御推薦がないようでございます。こちらをもちまして、座長に小野専門委員が互選されました。

それでは、小野座長から一言御挨拶をお願いいたします。

○小野座長

中山専門委員、石井専門委員、御推薦ありがとうございます。ただいま御推薦いただいた岡山大学の小野です。

農薬第四専門調査会の農薬の審議、先生方の専門知識を基によい評価書ができるよう円滑な審議に努めたいと思いますので、ぜひ御協力のほどお願いいたします。よろしく願いいたします。

○栗山課長補佐

ありがとうございました。

次に、食品安全委員会専門調査会等運営規程、第2条第5項に、座長に事故があるときは当該専門調査会に属する専門委員のうちから座長があらかじめ指名する者がその職務を代理するとございますので、座長代理の指名をお願いいたします。

これ以降の議事の進行は、小野座長をお願いいたします。

○小野座長

それでは、議事の進行を引き継がさせていただきます。

ただいま事務局から説明がございましたように、座長代理について指名したいと思います。私のほうから佐藤専門委員をお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

○佐藤専門委員

佐藤です。承知いたしました。

○小野座長

よろしく願いいたします。

もう、一言いただいいてしまいましたが、何かもう少し、一言いただけますか。

○佐藤座長代理

小野座長、御指名いただきありがとうございます。小野座長におかれましては、任期中、事故や病気には重々お気を付けていただき、私が代理を務めるような機会がないよう、健やかにお過ごしいただければと願っております。小野座長の代理としてはかなり力不足ですけれども、どうぞよろしく願いいたします。

○小野座長

よろしく願いいたします。可能な限り事故がないように努めたいと思います。

それでは、その他の議題に移ります。

まず、評価書の記載内容の検討についてです。事務局より説明をお願いいたします。

○栗山課長補佐

では、資料3を御覧ください。こちらは昨年度、農薬第一専門調査会にて調査審議を進めてまいりました評価書の記載内容の検討の結果について、本日こちらで御説明させていただきます。資料のほうにありますように、農薬の食品健康影響評価に関する事項の調査審議における留意点についてにおきまして、具体的な農薬の再評価に係る調査審議が始まるまでに、再評価における留意点に係る準備を行うこととしていたところでした。

そのうち、評価書の記載内容につきまして、これまでの評価経験ですとか、代謝物評価など国際的な動向も踏まえまして、以下のとおり、記載順序等の変更並びに記載内容の追加及び合理化を検討して、こちらのほうで進めていくということになったものです。

それぞれ下に1、2、3とございまして、こちらに対応する具体的な内容が別紙1、2、3に添付されてございます。本日、資料3の概要のほうで説明させていただきます。

1. 標準的な記載項目及び記載順序の変更ということで、まず(1)評価対象農薬の概要に物理的科学的性状の項目を追加というものです。

(2)安全性試験の記載順序について、使用される農薬の実際の流れに沿って、①環境、②植物・畜産物の代謝・残留、③毒性の順に変更ということです。これまで動物体内運命試験としてまとめていた試験のうち、家畜代謝試験は代謝・残留の部分に、動物体内動態試験は毒性の部分に記載することになります。

それから(3)経口投与による急性毒性試験のほか、一般薬理試験などの単回投与試験を急性毒性試験等としてまとめることになりました。

(4)神経毒性試験を新たに項立てしまして、神経毒性に関する試験をまとめることとしました。

(5)経皮投与、吸入ばく露等試験を新たに項立てしまして、評価の参考で記載する経口投与以外の試験をまとめることとしました。

(6)ヒトにおける知見を新たに項立てし、ヒトに関する知見を取りまとめることにしました。

(7)代謝物を用いて実施された毒性試験を、有効成分とは分けて別途まとめるという形にしました。

2つ目ですが、先ほど御紹介した物理的科学的性状の記載の追加ですけれども、有効成分の物理的科学的性状につきまして、評価に有用な情報としまして、沸点、融点、蒸気圧、外観、臭気等を記載することといたしました。

3つ目、環境中運命試験の記載の合理化ということで、各試験について概要を表に簡潔にまとめまして、必要に応じて特記事項ということで、推定分解経路等は文章で引き続き記載をすることになりました。

スケジュールのところにありますように、3月の調査会でこちらを具体化した別紙1から3のほうで議論しまして、そちらで最終化をされておきまして、この4月以降の専門調

査会で審議が開始される剤から適用されるということで、本日この後、第16回で審議される剤から適用されることとなります。

こちらはあくまでも標準的な記載内容となりますので、実際の具体的な農薬の審議の際には、各農薬において色々試験パッケージも異なりますので、記載もケース・バイ・ケースでアレンジしてくることが出てくると思いますので、その点、御留意いただければと思います。

事務局からの説明は以上となります。

○小野座長

御説明ありがとうございました。

ただいまの事務局からの説明について何か御意見、御質問がございましたら、お願いいたします。よろしいでしょうか。

それでは、特に御意見等はないようですので、先に進みたいと思います。

続いて、事務局より説明をお願いいたします。

○近藤評価第一課長

事務局の近藤でございます。

今年度最初の専門調査会となりますので、例年どおり、令和4年度の食品安全委員会運営計画について御報告させていただければと思います。

参考資料1をお手元に御準備ください。表紙をお開きいただきまして、目次がございます。第1から第9までございまして、このような全体構成となっております。

1ページに審議の経緯がございます。本年2月の企画等専門調査会で御審議いただいた後、食品安全委員会に報告し、国民から意見・情報の募集を行いまして、本年3月の食品安全委員会決定されたものでございます。

続きまして、2ページ、第1、令和4年度における委員会の運営の重点事項を御覧ください。以後に関しましては、農薬に関係するものを中心に御説明させていただきたいと思っております。

まず(1)として事業運営方針、国民の健康の保護を最優先に業務を進めていくといったことの記載がございます。

(2)の重点事項でございますが、①としまして食品健康影響評価の着実な実施ということで、客観的かつ中立公正なリスク評価を推進するとございます。この中でb.としまして農薬再評価に係る食品健康影響評価の実施とございまして、評価要請がなされた場合には、評価指針等に基づき評価を進めるとしております。

また、②のリスクコミュニケーションの戦略的な実施でございますが、後ろのほうでも詳細が出てまいりますけれども、今年度の重点テーマにつきましては、昨年度に引き続き農薬としていただいております。

続きまして、3ページの第2、委員会の運営全般についてでございます。(3)に食品健康影響評価に関する専門調査会の開催というのがございまして、また、関連する専門調

査会と合同で開催する場合があることなどを定めております。(4)委員会と専門調査会等の連携の確保でございますが、原則として全ての専門調査会に委員会委員が出席するとされております。本日も担当委員が出席させていただいているところでございます。

4ページの第3、食品健康影響評価の実施でございますけれども、1としまして、リスク管理機関から要請された案件の着実な実施でございます。要請された案件につきましては、計画的・効率的な調査審議を行うこととしておりまして、(2)に記載がございまして、企業からの申請に基づくものにつきましては、標準処理期間内に評価結果を通知できるように計画的に行ってまいりたいと思います。

また、いわゆるポジリス品目についても計画的に調査審議を進めたいと考えております。

以降、詳細な説明は割愛させていただきますが、お時間があるときに御覧いただければと思います。

説明は以上でございます。

○小野座長

ありがとうございました。

以上、事務局より令和4年度の食品安全委員会運営計画の御説明をいただきましたが、何か御質問、御意見等ございましたらお願いします。特によろしいでしょうか。

ないようですので、先に進みたいと思います。

事務局、ほかに何か連絡事項はございますでしょうか。

○栗山課長補佐

特にございません。

○小野座長

ありがとうございました。

それでは、以上をもちまして、第15回農薬第四専門調査会を閉会いたします。どうもありがとうございました。

以上